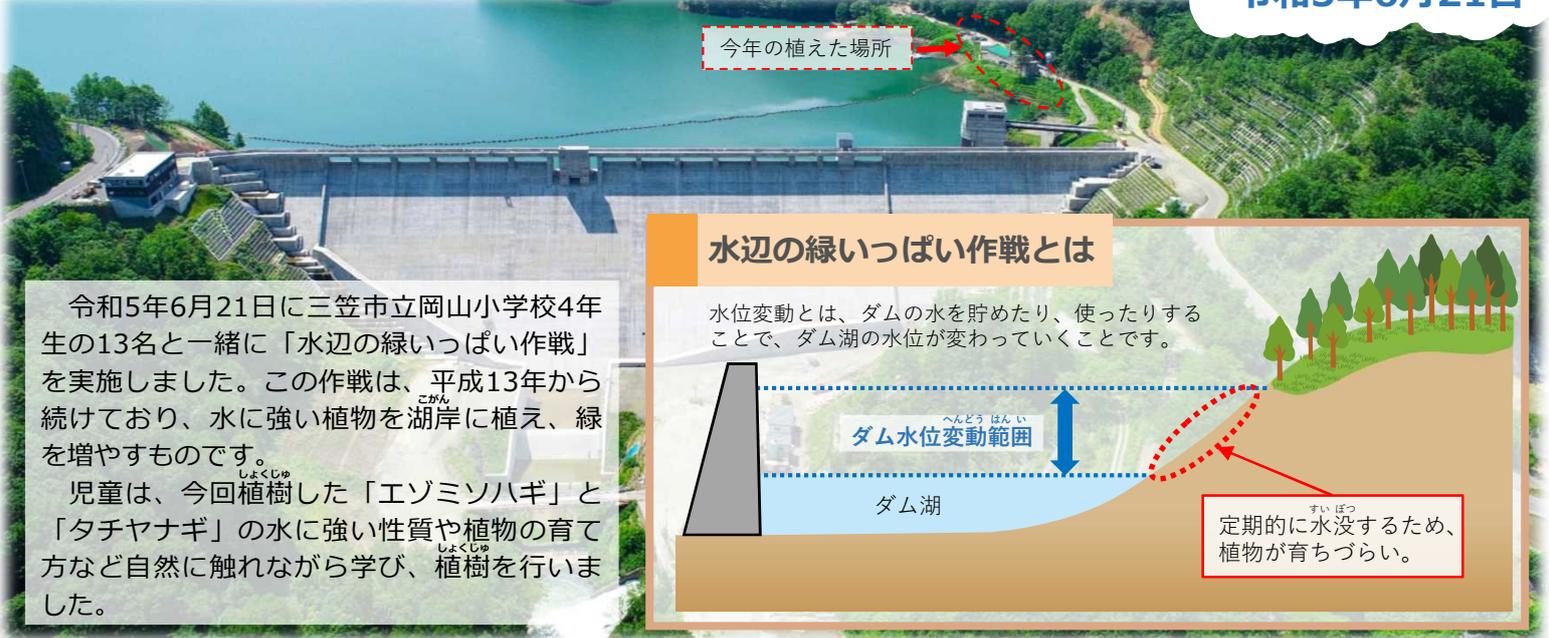


水辺の緑いっぱい作戦

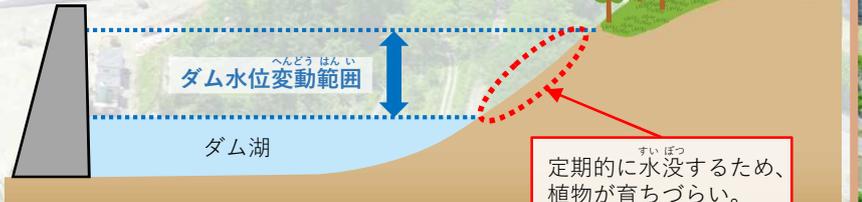
令和5年6月21日



令和5年6月21日に三笠市立岡山小学校4年生の13名と一緒に「水辺の緑いっぱい作戦」を実施しました。この作戦は、平成13年から続けており、水に強い植物を湖岸に植え、緑を増やすものです。
児童は、今回植樹した「エゾミソハギ」と「タチヤナギ」の水に強い性質や植物の育て方など自然に触れながら学び、植樹を行いました。

水辺の緑いっぱい作戦とは

水位変動とは、ダムの水を貯めたり、使ったりすることで、ダム湖の水位が変わっていくことです。



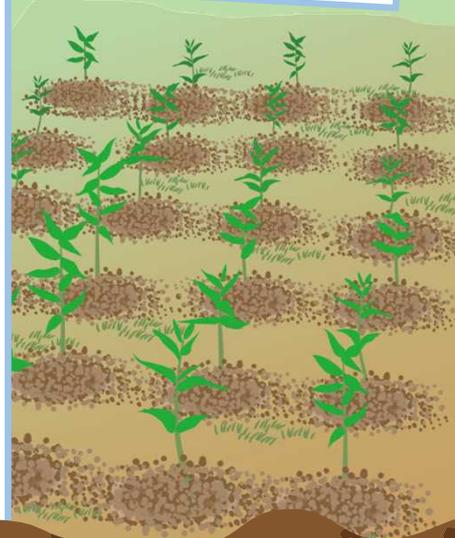
タチヤナギの枝を植える作業



エゾミソハギの苗を植える作業



岡村先生による植樹方法の説明



植樹の指導は、NPO法人 近自然森づくり協会の岡村先生に協力して頂きました。